

アンケート「若手の声を聞く」実施報告

～若手測量技術者へのアンケート～

○調査目的

若手技術者の意識を調査し、その結果を測量技術者の中長期的な育成・確保、測量業界のイメージアップ及び測量関係業種の魅力のアピールの促進に繋げていくために活用すること。

○調査方法

①メールで依頼

事務局 ⇒ 広報推進協議会 ⇒ 測量会社 ⇒ 調査対象者

②調査対象者は依頼メールに記載されたURLへアクセスし、入力フォームから回答

○調査期間

令和 3 年 1 1 月 2 9 日（月）～ 1 2 月 2 4 日（金）

○調査対象

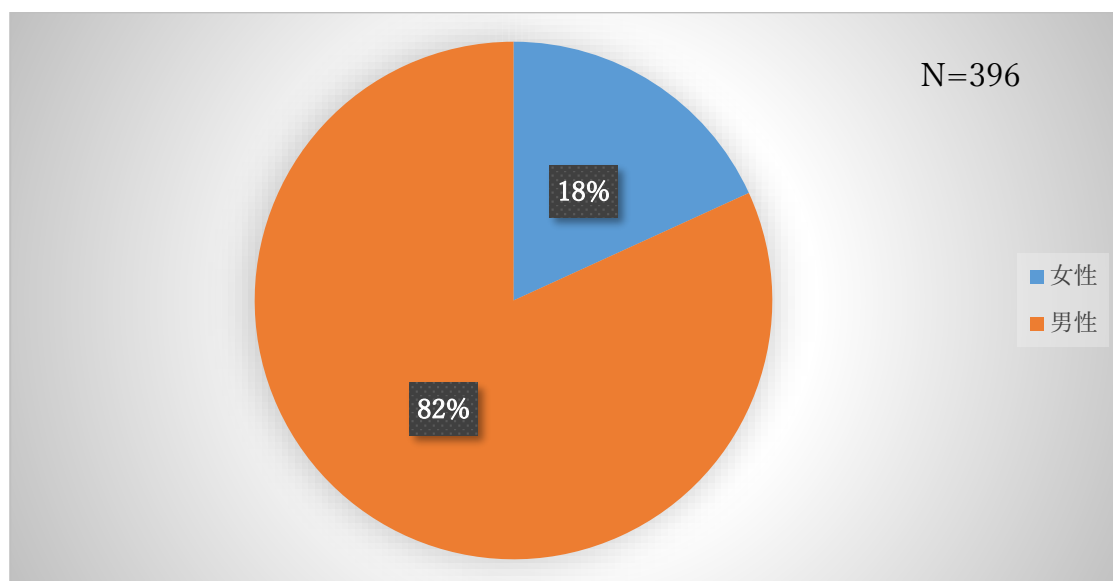
①測量会社勤務の若手技術者(入社 3 年目まで)

②国土地理院の若手技術者（採用 3 年目まで（普通測量研修員を含む））

○回答数

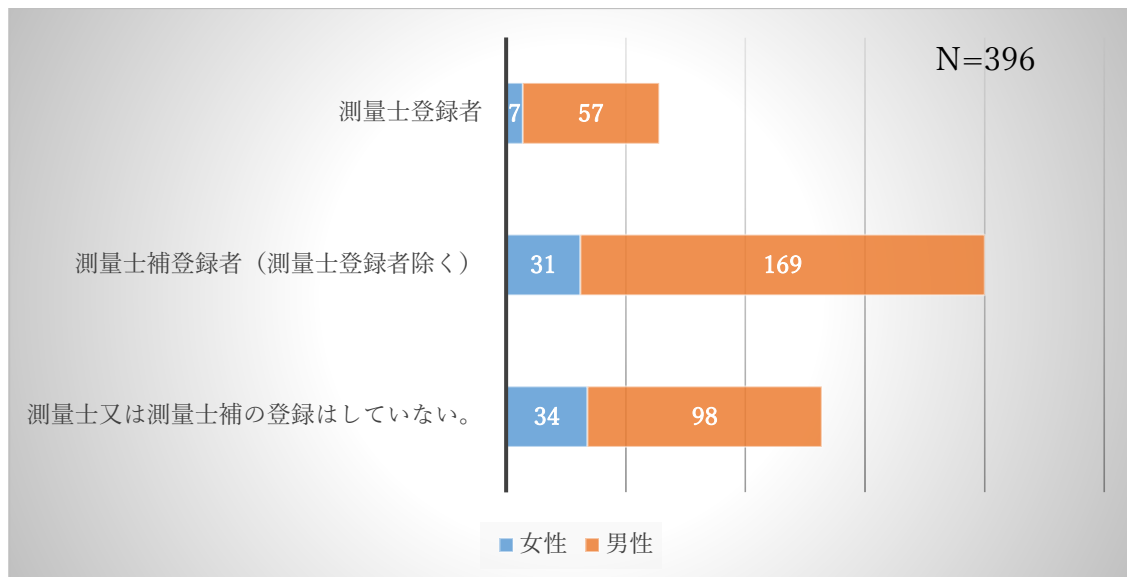
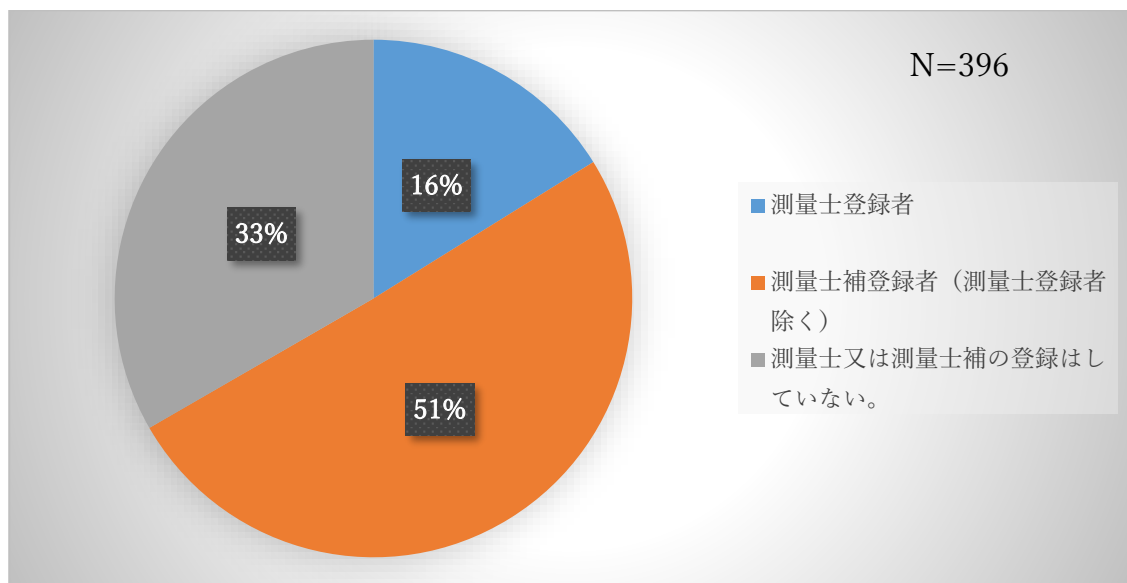
396 名（女性 72 名、男性 324 名）

問1. 性別について教えてください。



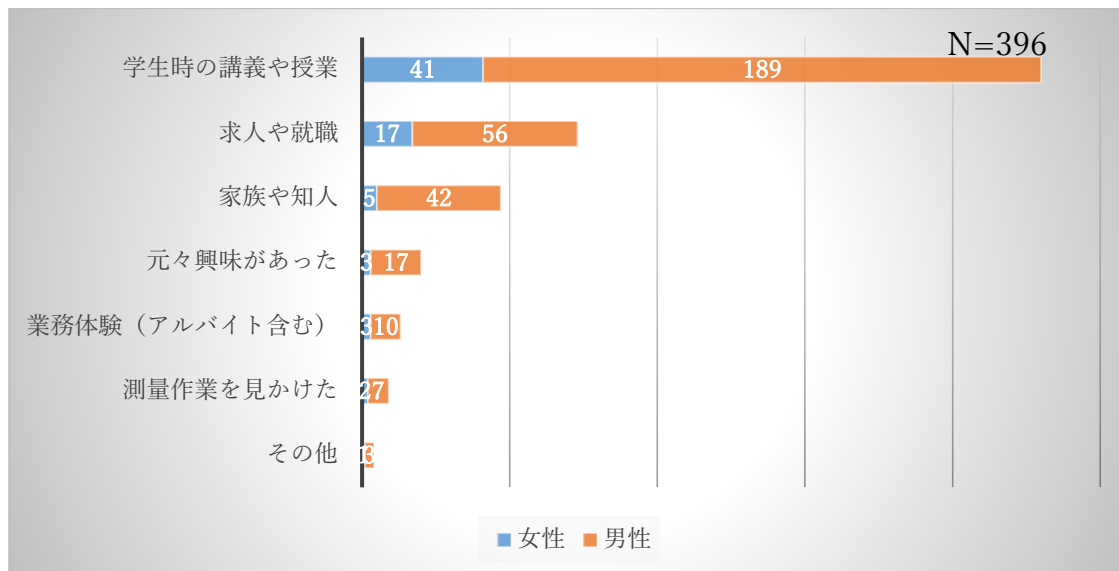
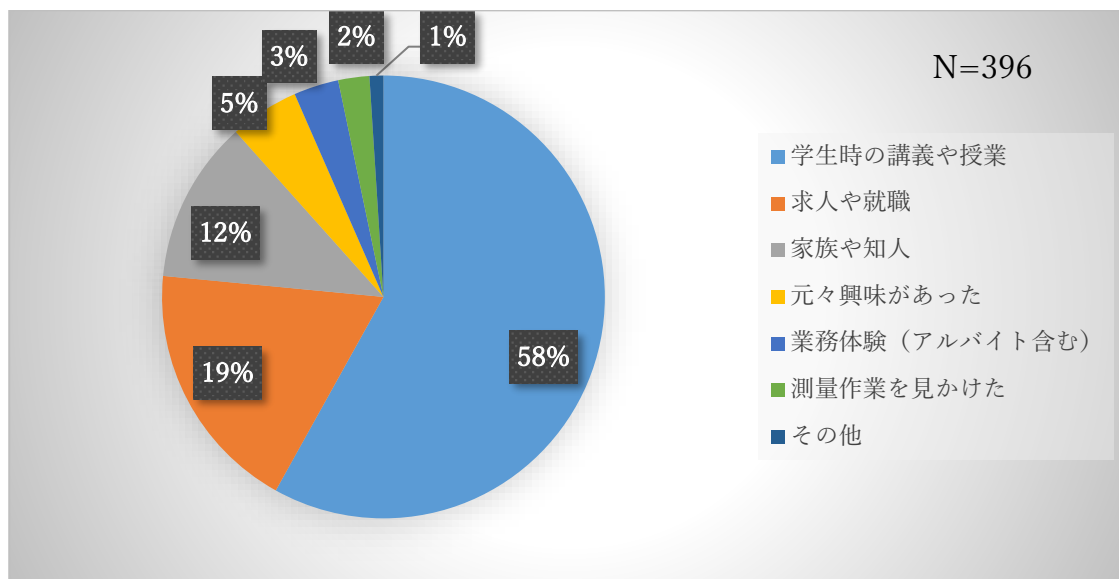
○全体の内、女性は約2割、男性は約8割。

問2. 測量に関する資格について教えてください。



○全体の内、測量士及び測量士補の資格を持っている者は約7割。

問3. 測量に出会ったきっかけを教えてください。

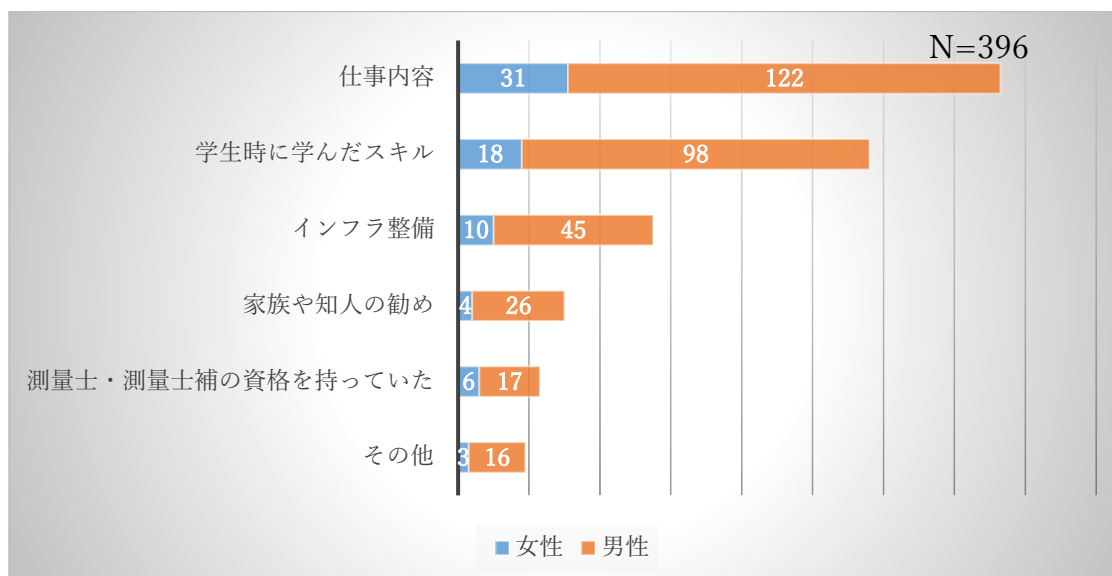
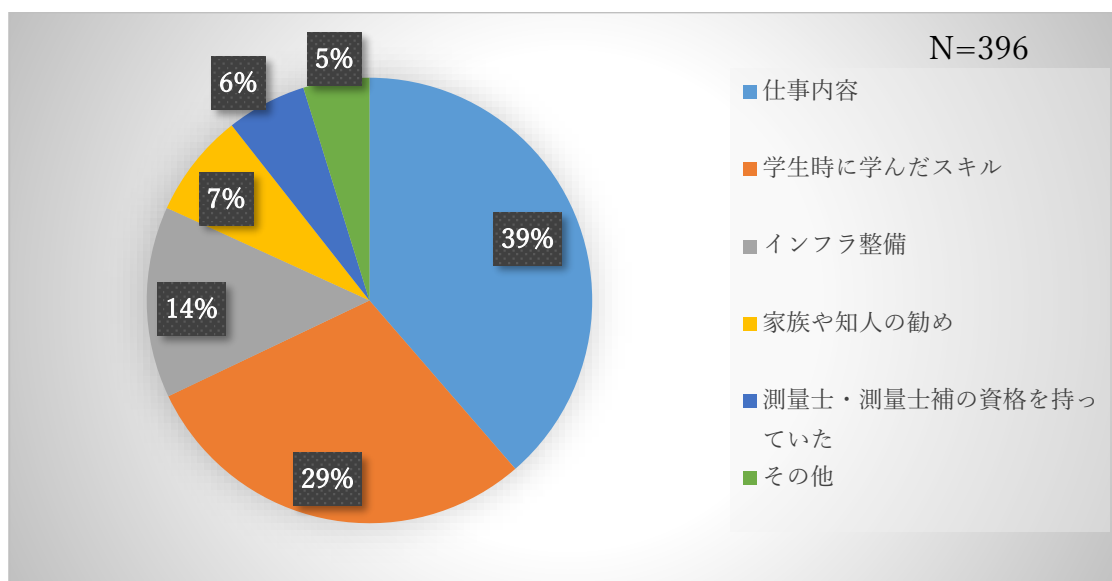


○学生時の講義や授業が半数以上の約6割で、教育機関との連携が重要であることが読み取れる。

●学生時の講義や授業（自由記述抜粋）

- ・大学の授業で受けた講義
- ・専門学校にて学習したため。
- ・高校の授業科目になっていたのがきっかけ。

問4. 測量関係の仕事を選んだ理由を教えてください。



○全体の内、仕事内容が約4割、学生時に学んだスキルが約3割となった。

●仕事内容（自由記述抜粋）

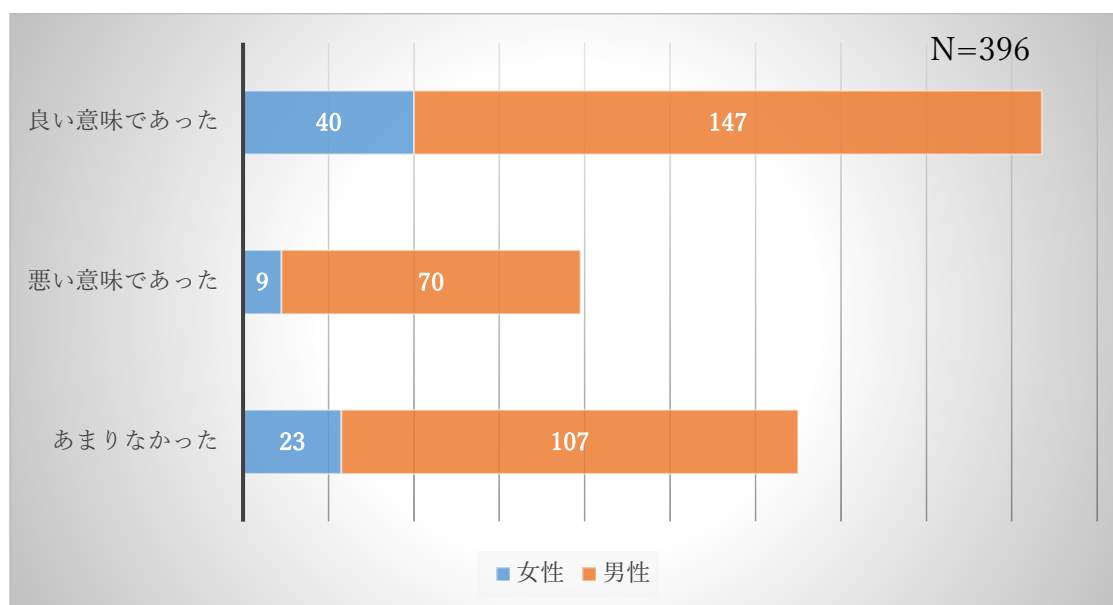
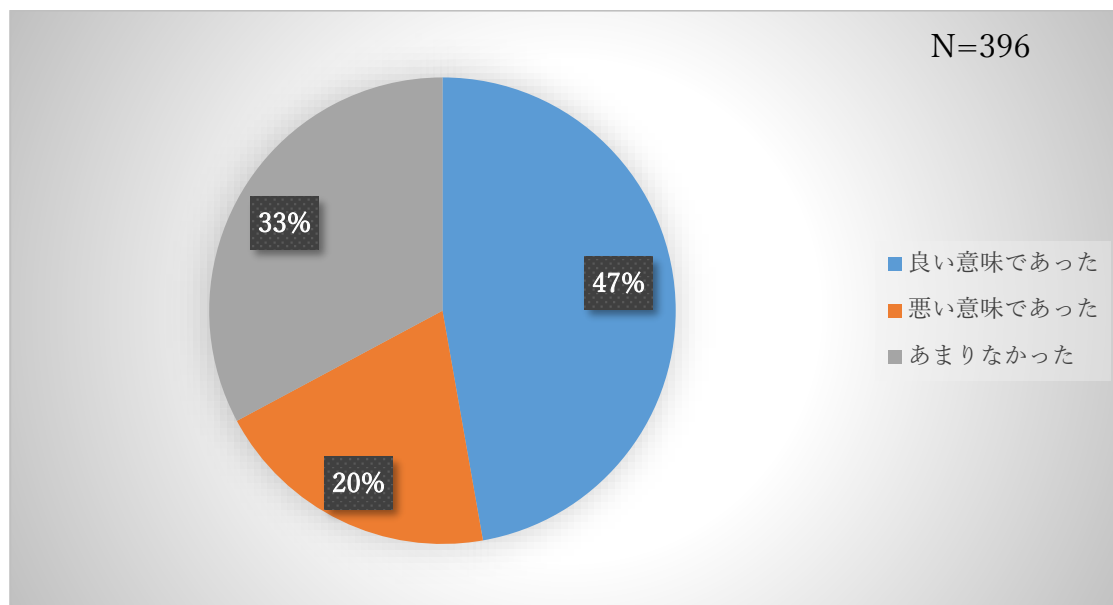
- ・区画整理の測量や最先端の測量といった応用的な測量がしたいため。
- ・災害時のニュースを見て携わりたくなった為。
- ・UAVを使用し、データの解析をしてみたいと思い、就職した会社内で測量も行っていた。

●学生時に学んだスキル（自由記述抜粋）

- ・大学でセンシングを使って研究していたため。大学でやっていたことを活かしたいと考えたから。

- ・土木関係を学んでいたから。
- ・大学の研究活動を活かせると思ったため。

問5. 測量企業に入ってみて、入社前のイメージと入社後に感じたギャップはありましたか。



○良い意味でギャップを感じたとの回答が約5割、悪い意味でギャップを感じたとの回答が約2割で、良い意味でのギャップを感じたとの回答が悪い意味でギャップを感じたとの回答の2倍以上多かった。一方、ほとんどギャップを感じなかったとの回答も全体の約3割となった。

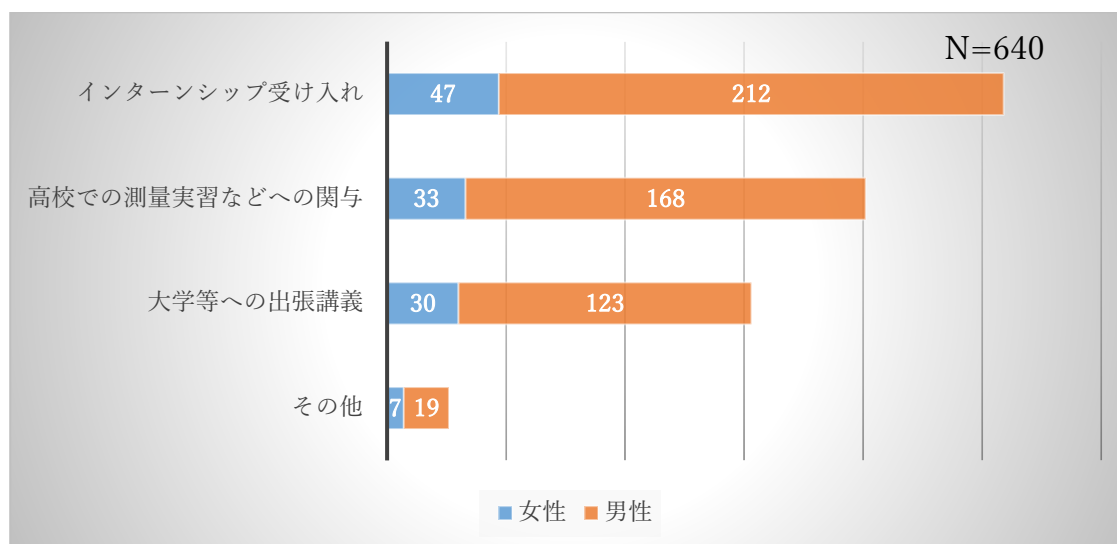
● 良い意味であった（自由記述抜粋）

- ・もっとブラックだと思っていたがそんなことはなかった。
- ・常に堅苦しいイメージでしたが、思っていたよりメリハリがあると感じました。
- ・もっと上司の方が厳しいと思いましたが、思った以上に手取り足取り優しく教えてくれる方が多いと感じたところです。
- ・技術が日々進歩し、最新の機材・手法が導入され続けていっていること。測量＝トータルステーションというイメージは間違いだったと痛感した。
- ・毎日帰りも遅く現場作業で疲れるのかと思っていましたが、今はドローンやMMSなどを利用して測量でき、現場作業の短縮ができていること

● 悪い意味であった（自由記述抜粋）

- ・現場での作業が思いのほか過酷でした。
- ・法や省令などの決まり事が難しい。
- ・デジタル時代でも人間の目と手による作業が多いと感じた。
- ・繁忙期と閑散期の業務量の差が激しい。
- ・仕事内容が思っていたより難しかった。

問6. 就職活動時に測量企業に望むツールなどをお聞かせ下さい。（複数選択可）

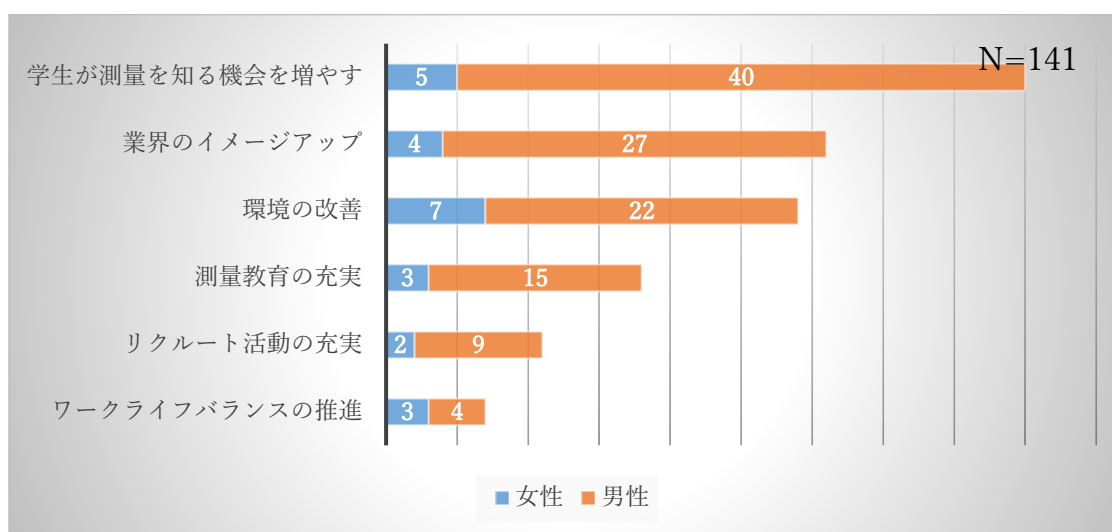


○測量企業にインターンシップ受け入れを望む声が259件と最も多く、続いて高校での測量実習などへの関与を望む声が201件と多かった。実際に業務体験をしたいとの声が多かった事が読み取れる。

問7. 問6で「その他」を選んだ方は具体的なツールをお聞かせ下さい。

- ・YouTubeやSNS等を活用したコンテンツの配信
- ・企業見学の受け入れ
- ・求人情報の充実
- ・広報活動の充実
- ・資格を取得するための補助
- ・母校へのリクルート

問8. 人材確保等に関してご提案・意見があれば、自由にお聞かせ下さい。



○学生が測量を知る機会を増やすことが45件と最も多く、続いて業界のイメージアップが31件、環境の改善が29件と多かった。

●学生が測量を知る機会を増やす（自由記述抜粋）

- ・若い方々が測量という分野に関わる機会を増やすべき。
- ・そもそも測量業界のことを知らない学生が多いので、まずは就職先の選択肢に入れてもらうため大学への積極的な働きかけが必要だと感じる。
- ・工業系の学校以外にも測量士補の資格を取得できる大学等在るため、視野を広げること。

●業界のイメージアップ（自由記述抜粋）

- ・就職活動をしていた折りに測量関連の業界は大変という噂をよく耳にしたため、そのイメージ払拭ができるように学生と係わる機会を増やすのが良いのではないかと思います。

- ・ SNSを有効活用すべきだと思います。
- ・ 実際に就職してみると想像よりも働きやすい環境でしたが、就職活動をする際、会社説明の冊子やホームページ等が古いデザインで、全体的にとっつきにくい印象がありました。WEBデザイナーを雇い、ホームページを作り変えるだけでも印象は大きく変わると思いました。

●環境の改善（自由記述抜粋）

- ・ 「観測したデータをその日のうちに図化する」「観測した本人が一番現地を解っているから当人が図化する」という理屈は解るので仕様としては当然ですが、観測から帰ってから残業とセットなのは人材確保の観点からはマイナスが大きいのではないかなあとと思います。
- ・ 他のエンジニアリング企業と負けない収入があれば良いと思います。
- ・ 業務の偏りや技術力の差が少なくなるような制度も勿論必要ですが、そもそも評価基準が年功序列だったり業務の成果外だったりすることが多いように見受けられますので、そこが確立されているような企業は魅力的だと思います。

●測量教育の充実

- ・ 大学時代は講義で何となく理解していたが実際に仕事をしてみると講義以上に初めて覚えることが多いため測量企業が大学と連携して事業を進めていくことで実際の成果と作業内容をつかむことができ人材確保につながるのではないかなと思う。
- ・ 就職前までに測量に関わったことのある学生は極めて少ないと思うので、採用する学生の分野は問わず、その分、就職後に十分な期間の研修を設けるようにすると、測量企業を敬遠する就活生も減少すると思う。（自身も就職後に十分な研修があるということを前提に、現職場に就職した。）
- ・ 新人研修などの社内研修以外に、社外での(現場など)実践的な研修を行うと良いと思う。

●リクルート活動の充実

- ・ 従来の土木・建築・地理学の分野に加え、GPS測量や航空測量が発達した現在においては機械系・航空系・宇宙系(?)の分野にも測量をアピールする機会があるのではないかなと思います。
- ・ 文系と理系では分けられない方々に人材確保の余地があると思う。
- ・ 大学等の就職支援に積極的にアプローチすべき。

●ワークライフバランスの推進

- ・ 女性が働きやすい環境づくり、女性が働き続けられる環境づくり。

- ・私は女なので、将来結婚や出産を控えたとき、会社に迷惑をかけるのではと考えてしまいます。また周囲に同業の女性がいないため、どうやって乗り越えたのか、どういう工夫をしたり協力があったのか等の情報収集が難しいと感じています。長くこの業界で活躍し続けている方のモデルケースや体験談等の紹介や、オンラインのイベントは時間によって参加できないことが多いので掲示板のような形で交流できる場があればいいなと思います。私の会社では女性社員の結婚・出産に関する問題が初めてのケースになるため、他社での工夫等を知ることにより相談のしやすさにつながり、引いては長く勤める環境づくりにもつながるのではないかと考えます。
- ・完全週休二日制の土日休みというのが今の会社を選んだ大きなポイントでもあったので、働き方改革が進んでいるこれからの時代に若い人はその点を重視する人も多いと思う。